



WEEKLY クラブの歴史と伝統を継承しつつ 新しい風を吹かせよう 週報 No.1944

鹿見島中央ロータリークラブ



令和2年3月16日 第1971回例会

1977年1月10日創立

2019～2020年度 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

●会長 坂元 直人 ●副会長 加島 繁 ●幹事 川路 理幸 ●編集 広報・雑誌・IT委員会 (公共イメージ)

四つのテスト 言行はこれに照らしてから ① 真実かどうか ② みんなに公平か ③ 好意と友情を深めるか ④ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 会員卓話 = 「鹿児島大学アカデミーロータリークラブ設立について」

3月 水と衛生月間

前回例会出席率 70.91%

会長の時間

坂元 直人



みなさん、こんにちは。新型コロナウイルスの感染拡大が広がっており、各方面に多大な影響が生じております。情報集会も新型コロナウイルスの関係で、感染拡大の収束まで延期させて頂きました。4月の親桜会開催をどうするか等、本日開催予定の理事会で慎重に協議をする予定です。なお、鹿児島ロータリークラブは新型コロナウイルスの感染拡大を理由に先週金曜日の例会を中止しております。

本日の理事会の議決事項は皆さんにも関係することが多いと思われるので、改めて私の方からもご報告をさせていただきます。

本日の会長の時間は「論語」をネタにして少しお話しをさせていただきます。

本年度がスタートした最初の例会の日に「論語」を引用した話をしたのですが、会長の時間で「論語」の話をしたのはそれ以来になるかと思えます。

私は、20代の弁護士に成り立ての頃、「論語」が行動の指針に役立つのではないかと思い、岩波文庫から出ている「論語」を全て読み、行動の指針になりそうなフレーズを手帳に書きこむ作業をしました。

そのうち、今日はその幾つかをご紹介します。

一つ目が「子の曰く、後生(こうせい)畏るべし。焉んぞ来者の今に如かざるを知らんや。四五十にして聞こゆること無くば、斯れ亦畏るるに足らざるのみ。」になります。

私なりに現代語訳に直しますと「後進の者は努力次第でどれほどの力量を付けるか分からないので、おそれなければならぬ。しるかに、40代・50代になっても名前が聞こえてこないような人物はおそれるほどのことはない」になります。

この論語のフレーズは若い世代の未来に希望を持たせるとともに、既に成功を治めている中高年層に対する戒めを与えるところがあり、40代・50代で名前が聞こえて来ないようでは畏れるに足りないかと断言する孔子の言葉の強さに圧倒されるところがあります。

次は、「子の曰く、君子は義に喩(さと)り、小人は利に喩る。」です。

私なりに現代語訳に直しますと、「君子は信義を重んじ、正しい道かどうかによって物事を判断するが、小人はまず自分の利益になるかどうかで物事を判断する」となります。仕事柄、色々な企業様を見させて頂くことが多く、約20年の弁護士生活で数々の企業の失敗例や不祥事を見させて頂いております。

先の論語のように信義に従って正しいかどうかを判断基準にすることが大切であり、これを判断基準にしている限りは大きな間違いは犯さないように経験上は思っております。逆に、自社に利益になるか否か、自分の利益になるか等の判断基準を持ってしまうと必ずと言って良い程失敗をするように思っております。

私はビジネスに関連する色々な書籍をこれまで読んできましたが、利よりも信義というのは基本中の基本であり、これを違えては必ず失敗するように思います。

最後に、「事に敏にして言に慎み、有道に就きて正す」です。私なりに現代語訳に直しますと、「物事に当たるに当っては言葉は慎み、迅速に行うことが大切だ、その上で正しい道を歩んでいるかの検証作業を行うべきだ」となります。この「言葉は慎み、迅速に」というのが非常に気に入っており、自分で出来ているかどうかは分かりませんが、昔から行動の規範にはするように心がけております。

言う事だけ言って行動するのは遅いとか、人任せで自分は何もしないとか言う人がいますが、出来るだけそうならないように自分を戒め続けたいといけません。

ルイス・ガーズナーというIBMを立て直した名経営者がおりますが、その名経営者の『巨象も踊る』(日本経済新聞出版社)という書籍にも「速く動く。間違えたととしても、動きが遅すぎたためのもより、速すぎたためのもの方がいい」というフレーズがあります。

また、日本を代表する経営者であるユニクロの柳井正氏の『一勝九敗』(新潮社)という書籍にも「スピードがない限り、商売をやって成功することはない」というフレーズもあります。

論語とビジネスというのが思いの他親和性があり、皆さんにおかれまして論語の再評価をして頂けると新しい発見があるかもしれません。以上で会長の時間を終わります。

年男・年女 年頭所感 Part II

丸山健太郎

1960年2月鹿児島市で生まれました。安保と所得倍増論の年で、日本が豊かさを手に入れるために、国を挙げて走り出していました。

1972年、12歳の時には浅間山荘突入のニュースをリアルタイムで見っていました。日中国交正常化、沖縄返還、列島改造論など、上げ潮を象徴する出来事が相次ぎました。

1984年、24歳で南日本放送に入社しました。ディレクターとしての初仕事は平川のヨットの話でした。自分の作った番組がお茶の間に流れているということの感動とある種の畏怖を覚えました。世はバブルの真っ盛りで、天文館ですら、週末の夜はタクシーをつかまえるのに一苦勞していました。

1996年、36歳のときは、報道部の若頭というポジションで、遊軍的に企画ニュースを手がけたり、新しい番組を立ち上げる準備をしていました。大和銀行のアメリカ撤退、太平洋銀行破綻、住専処理とバブルの清算は緒についたばかりでした。

4回目の年男、48歳の2008年は総務部長でした。奄美などのデ



ジタル化の投資計画を立てたり、リーマンショックの年なので、急激な業績の悪化に対応していました。

今回が5回目、60歳の今は常務という立場です。人口減少が続く中で、インターネット広告の存在感が増してきて、放送を取り巻く環境は厳しさを増しています。厳しい時代を生き残るには、IoTとAIを活用して徹底して効率化を図り、ダウンサイズしながら、鹿児島にとってなくてはならない放送局であり続ける。それしかないとは分かっていますが、では具体的にどんな道筋を作っていくかということ、大変難しいと実感する日々です。

こうして振り返ると、池田勇人の所得倍増の年に生まれ、12歳は田中角栄の列島改造、24歳のバブルで上りつめ、36歳でバブル崩壊、48歳はリーマンショック、60歳は人口減少と新型コロナウイルス。私の年男は、戦後日本のまさに縮図だと感じます。

いろいろお話してきましたが、人生50年の時代には、還暦はある種の到達点だったのでしたが、100年時代にあっては通過点の一つに過ぎません。とはいえ、大きな節目。竹は節目を刻むたびに強く、しなやかに伸びていきます。竹にならって、しっかりと節目を刻む年にしたいと思っております。今年もよろしくお付き合いください。

例会場 山形屋7F社交室

例会日 毎週月曜日

事務局 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL.099(223)9366 FAX.099(239)3504

メール kchuorc@bi.wakwak.com ホームページ http://kagoshimachuo-rc.jp/

■小笹 貴之

本日は、48歳という4回目の年男を迎えて、自分自身の過去の年男がどういうタイミングだったかを振り返り、これからについて考えてみました。

最初の年男。ちょうど小学校6年生から中1にかけてです。当時は長崎に住んでいて、長崎大学の附属中学を受験・合格したのがその年のトビックスでした。

次に2回目の年男。その年の大きな出来事は会社人生はじめての人事異動の経験です。もともと、長期で資産を運用する仕事をしたいと希望して入社したので、異動希望先は本社の資産運用部門。しかし、現実には経営企画部。その後、結局、資産運用部門で仕事をすることは一度もなく、今に至っています。会社人生とはそういうものと今では割り切っています。

次に3回目の年男。結婚して10年目。この年は、下の娘の小学



校受験と私の人事異動が大きな出来事です。とくに私は初めての単身赴任。妻からはこのとき「なんでこのタイミングで静岡に異動？」と散々文句を言われ、異動まではひと悶着ありました。ちなみに結婚20年目の今回の鹿児島への単身赴任が決まった時には、あっさり「あ、そう。気を付けて行ってらっしゃい。」でした。

そして迎えた今年。48歳。ここから12年間、一体どういう人生となるのか、12年後の60歳、自分や家族はどうなっているのだろうかと思いを馳せると、期待と不安とが入り混じった感じというのが正直な気持ちです。そのなかでも、しっかりと向き合う必要があるのは「妻」と「健康」と考えています。

これから始まる12年、人と人との関係を大切にしながら、良いことも悪いこともしっかりと受け止めつつ、いい還暦を迎えられるよう頑張っていきたいと思います。引き続き、お付き合い、ご指導のほどよろしく願います。

定例理事会議事録

議 題

- 3・4月例会プログラム及び行事予定(添付資料)
→3/9(月)例会中止、3/16(月)通常例会(場所変更)、4/20(月)昼例会へ変更
- 会計報告(別紙明細)…承認
(1)2月度試算表について
- 新入会員候補について(添付資料)……………承認
氏名:牛田 篤志(うしだ あつし)
勤務先:共同組海運(株)
推薦者:坂元 直人・春山 慶次郎
- ロータリー米山記念奨学生の世話クラブとカウンセラーの引き受けについて……………承認
●米山奨学生
氏名:陳 珂雨(チン カウ)
学校:鹿児島大学 連合農学研究科 応用生命科学専攻
国籍:中国
奨学期間:2年(2020年4月1日~2022年3月31日)

会議名	定例理事会
場 所	開開
日 時	令和2年3月2日(月) 例会後~
出席者	坂元直人・川路理幸 加島 繁・高岡和也 橋元 隆・田中和俊 宮脇謙舟・吉田健朗 岡部龍一郎・丸山健太郎 池島泰光
欠席者	志賀啓一・竹添 寛

●カウンセラー

- 平山 勢津子 会員
- 5) コロナウイルスへの対応
 - ①観桜会(令和2年4月4日(土))の開催の可否について
→2週間後の状況のみて検討する。
 - ②3月・4月通常例会の実施及び例会中止(休会)について
→3月9日 中止
3月16日以降 通常例会
 - 6) 年輪会開催について……………承認
日程:4月17日(金) 18:30~
 - 7) ローターアクトについて
→当面は残し活性化に努める
 - 8) 鹿児島大学アカデミーロータリークラブの詳細について
→別紙について承認
 - 9) その他
 - ①次回理事会について……………承認
令和2年4月6日(月) 例会後~ 於:開開
 - ②メーキャップ期間について
→メーキャップ期間を前後1か月とするように、次年度定款の見直しをする。
 - ③長沙市へのコロナウイルス被害に対する義捐金
→1,000円×会員人数分 スマイルより支出

スマイル・ボックス

- 前迫 実君/誕生日お祝いありがとうございます。まだ満69才です。頑張ります!
- 里 良男君/3月2日、今日が誕生日です。74歳、来年からは後期高齢者です。生涯現役にむけて頑張ります。
- 吉田 健朗君/誕生日お祝いありがとうございます。55才になります。そろそろ無理のきかない年になってきました。健康に気をつけ頑張ります。
- 加島 繁君/誕生日祝いありがとうございました。この頃は誕

生日プレゼントもゴルフボール、ゴルフウェアなどゴルフ道具という選択しかなく、年々ほしい品がなくなっています。人生まだどん欲に過ごしたいと思います。

- 村上 剛君/私ごとですが、4/1付け人事異動で東京へ転勤となりました。短い間でしたが、中央ロータリーに入れていただき、皆さまと知り合い、楽しく多くのことを学ばせていただき、充実した鹿児島勤務となりました。この経験を活かし、今後も社会・地域への奉仕に励んでまいります。なお、後任は、種子島出身の「よかにせ??」です。引き続き仲間に入れて頂けたら幸いです。皆さま、本当にありがとうございました。

3月2日のスマイル 小計 15,000円 2019~2020年度 累計 581,223円

ロータリーソング:「奉仕の理想」

職業宣言唱和:1・2

食事:「米山ランチ」・「本日の演奏」

会長の時間:会長 坂元 直人君

誕生日お祝い:里 良男君(2日)・稲留 宏君(5日)
吉田健朗君(7日)・前迫 実君(12日)
竹添 寛君(13日)・加島 繁君(25日)

会務報告:幹事 川路 理幸君

- 1) 本日の配布 ①2/19と本日の週報
②ロータリーの友 3月号 ③月信 3月号
- 2) 3月12日(木)鹿児島東RCとの合同例会→延期
- 3) 3/15-17に予定しておりました、セ釜山来鹿は中止となりました。
3/16(月)の例会は、通常通り昼例会を行います。場所は山形屋食堂桜島へ変更。
- 4) 市内ロータリークラブの例会が休会等変更になることがございますので、メーキャップ等その都度事務局へご確認ください。

第1970回例会記録 3月22日(月)

- 5) RCC例会
3/8(日) 11:00~ 天文館松山通り リンクビル9階
指名出席者⇒濱園、中間 各会員
- 6) 本日定例理事会 例会終了後 於:開開
- 7) 次週3/9(月)例会につきましては、決まり次第FAXにてご案内いたします。
出席報告:出席委員会
スマイルボックス:親睦委員会
3分間情報:友の見どころ=広報雑誌・IT委員会
卓話:会員卓話=「年男・年女 年頭所感」
丸山 健太郎君・小笹 貴之君

次回例会 令和2年3月23日(月)

会員卓話=中間貴志君「民法改正」

出席率	会員数	出席数	出席報告
第1970回例会	57名	39名	70.91%
前々回(2月10日)の補正	57名	38名	67.86%